

冬を快適に

雪に強いまち

11月10日 除排雪対策本部を設置
歩行者を最優先に、歩車道除排雪の充実を図る



北海道内でも屈指の豪雪地帯の岩見沢。ひと冬に7m以上の雪が降ることもあり。そんな冬が間もなくやってきます。

安全で安心して、そして快適に積雪期間を過ごすことができるよう、市は、町会(自治会)や警察、公共交通機関などの関係機関と密接な連携を取り、雪に強いまちづくりに取り組んでいます。

今年も、11月10日から除排雪対策本部を設置し、昼夜を問わず除排雪に取り組みます。また、過去に郊外の路線で、より多く発生した交通障害に対処した経験を踏まえ、気象条

こうしてお互いに分担して、冬をより快適に暮らすことができるように、効率良く排雪を行うことができると考えています。

この制度も、年々利用する町会(自治会)が増え、昨年は14町会で、排雪した延長は100kmを超えました。

安全を確保するために迅速に対応します

歩行者の安全確保を最優先に、地域の交通状況をパトロールなどにより的確に把握します。

そして状況に応じて、大型ロータリー車1台と除雪ドーザー1台が1組となった市の直轄機動班が、交差点の見通し確保や吹き飛ばしによる道路幅など、小回りのきいた、きめ細かな除排雪を進めます。

皆さんにも協力してもらうことができます

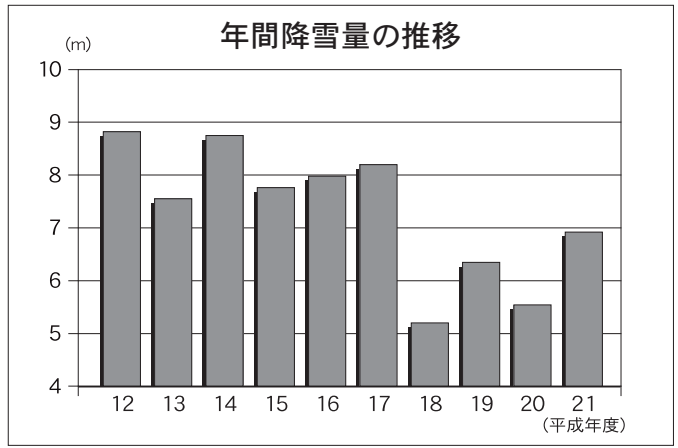
1年間に7mも降る雪を克服していくためには、市民の皆さんの協力が必要です。

除排雪の障害となる路上駐車や除排雪終了後の道路や歩道への雪出しなどは、事故の危険が増えるだけでなく、安全で円滑な通行の妨げにもなるので、絶対に行わないでください。

件に応じて、段階的に体制を強化する気象条件別本部体制をとって、冬期間の危機管理対応に万全を期します。

基準を設けて除排雪を行います

除雪車は、降雪量が10cm以上になると予測されるときに出動し、通勤や通学に支障が出ないよう、午前7時までに終了できるように作業を行うほか、日中の吹雪や暖気などにより、車両の通行に支障が出る、と判断したときにも出動し、路面をならしたり広げたりします。



また、屋根に積もっている雪が、暖気などで道路に落雪し、通行が危険になっていることもあります。自分の家だけではなく、近隣の家の状況も確認し、注意してください。

市は、皆さんが安全で安心して快適に冬を過ごせるよう、関係機関と連携しながら雪対策に取り組んでいきますので、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

平成22年度 道路除排雪予算

8億3,652万円

- 車道除雪延長 954.3km
- 歩道除雪延長 132.5km
- 運搬排雪延長 83.6km
- 交差点カット排雪 245カ所

町会(自治会)で行う自主排雪を支援します

市が行う排雪は、交通量が多い幹線道路やバス路線、通学路等を優先

また排雪は、積雪が1m程度あつて、今後の降雪によっては、歩行者や車両の通行に支障を及ぼすと判断したとき、市の計画する排雪路線に基づいて、バス路線をはじめとする幹線道路を最優先に、主要な通学路を優先に排雪を実施します。

して実施するため、皆さんが住んでいる地域の住宅街の道路までは行うことができません。

そこで市は、自主的に排雪を実施する町会(自治会)に、大型ロータリー車1台と除雪ドーザー2台、誘導員3人程度を1組として派遣します。そして町会(自治会)で、雪を運搬するダンプトラックを確保してもらい、積み込んだ雪を市が管理する最寄りの雪堆積場に運搬する自主排雪制度を促進しています。

24時間体制
除排雪110番
☎22局8400